

大分県立高校の学科改編等について

令和7年6月27日

大分県教育庁 高校教育課

1. 中津南高校耶馬溪校における全国募集の導入及び学科名変更

【現状・課題】

- ・平成24年度以降、14年続けて欠員
- ・これまでの地域の物的・人的資源を活用した探究的な学びの実践に加え、今年度、中津市により魅力化コーディネーターが配置されたことで、より充実した教育活動の展開が可能
- ・中津市では、本校の全国からの志願者受け入れに向け、住居費・生活費などの支援を予定

【対応】

- ・令和8年度入試から、「全国募集（R8年度は定員の7%を予定）」を導入
- ・学校の教育活動の特色を明確にするため、令和8年度から、「普通科」を「環境・社会共生科」に学科名を変更
- ・学校設定教科「耶馬溪自然環境学」を新たに開設し、地域環境や地域社会に関する体験的、探究的な学びを実施

2. 芸術緑丘高校音楽科における県外からの志願

【現状・課題】

- ・「音楽科」では、定員40名に対し、5年連続で4名程度の欠員
- ・芸術科のみ設置の公立高校は全国でも数少なく、芸術文化短期大学と同じ敷地にあるため、全国への積極的な周知により、志願者増が可能
- ・現在、県外からの志願について、「居住する都道府県に芸術科を有する高等学校がないなどの理由により、同校を志願する者」のみ、身元引受人制により志願可

【対応】

- ・「音楽科」について、全国から積極的に志願者を募集するため、「全国募集枠（定員の10%程度）」を定めて、全国に周知

大分県立中津南高等学校耶馬溪校 令和8年度から全国募集開始

令和8年度より、耶馬溪校普通科を「環境・社会共生科」に改編

「耶馬溪」すべてを教室とした体験活動が充実！

POINT 1 耶馬溪の自然を教材とした「環境学」を展開

○ 学校設定教科「耶馬溪自然環境学」での学び

山国川流域の自然環境の保護や自然災害についての理解を深め、環境問題や産業課題の解決に向けた方策を考え、その手だてを発信する学びを実践します。

(「耶馬溪自然環境学」での学びの例)

- ・ 山国川周辺の生態調査
- ・ 耶馬溪ダムを中心とした治水や防災に関するフィールドワーク
- ・ 耶馬溪地域の山林の間伐材や環境改善に関するワークショップ
- ・ 山国川河口流域の干潟の生態調査、水質検査



POINT 2 耶馬溪の「食文化」を通して社会とつながる

○ 開店！地域密着「YABAKEI」カフェ！

総合的な探究の時間「シン耶馬溪学」では、地域の「匠」から食文化を学び、地元施設を活用した高校生カフェを通して、社会とつながる実践力を身に付けます。その他にも地域の「人」と「伝統文化」に触れる学びを展開します。

(「シン耶馬溪学」の学びの例)

- ・ そば打ち、シイタケ栽培、ジビエ猟から学ぶ体験活動
- ・ 耶馬溪の「食の匠」「豊富な食材」を活かした探究活動
- ・ 耶馬溪の観光ツール「自転車」を通じた探究活動
- ・ 史跡・名勝の清掃ボランティア、しめ縄作り等の体験活動



POINT 3 オンライン×リアルによる学びの充実

○ 一流の講師陣によるオンライン講座を開講

「耶馬溪自然環境学」「シン耶馬溪学」では県外講師によるオンライン講座を通して専門的に環境学を学び、その学びを地域のフィールドワークなどの実践に活用します。



全国の仲間と机を並べる！～令和8年度から全国募集開始～

県外からの入学者に対する中津市からの支援

- 学生寮を準備します。(家賃・食事費(朝夕)として4万円/月程度)
- 自転車の貸与、冷蔵庫や洗濯機等の一人暮らしの準備の支援をします。
- 国内屈指の水上スキー場「アクアパーク」での水上スキーに係る費用を支援します。

(利用料免除、道具一式無償貸与、インストラクターによる技術指導無償)